

酒田市教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（案）に関する意見募集の結果について

酒田市教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（案）に関する意見募集を酒田市総合計画後期計画【案】の意見募集の中で実施しました。

1 概要

- (1) 募集期間 令和4年10月5日から令和4年10月24日まで
- (2) 大綱（案）に係る意見提出者 3名、意見数12件

2 寄せられた意見と本市の考え方

No.	ご意見〔前段〕及び本市の考え方〔後段〕
1	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章「未来を担う人材が豊富な酒田」～ひとづくり・協働～ について</u></p> <p>提案企画名：「隣のエキスパート」</p> <p>内容：市内で働く人の中から中高生、大学生に仕事内容、魅力を伝える講演会、学習会を月1回開催する。講師は公募で自薦他薦（他薦は未成年からも可能）により募集し、参加可能か市が打診しスケジュールしていく。参加者は無料、講師には謝礼を出し、会場、謝礼などの費用は市が負担する。講演会の内容は収録し、市のホームページからアクセス可能とし、情報共有していく。</p> <p>提案意図：以前都内の病院に勤務していた時に院内で実際にあった企画だが、とても好評だった。院内で世界的、国内で最先端のことをしている人材は多数いるが、それぞれの業務に追われ、隣の同僚、上司がどんな仕事をし、実績を上げているか把握できていない場合も多いため、それを周知し、その後の仕事や研究のコラボレーションなどを促進する狙いがあった。毎回会場満席となるほど参加者があり、講師も他薦される方が多かった。酒田市でも魅力的な仕事をしており、優秀な業績を収めている方は少なくないと思われるが、それを若い人にアピールし宣伝する機会が乏しい。また若いひとで市内に残って働きたいと考えている人もいるが、具体的にどんな仕事があるのか、魅力的か、将来性があるのかを知る機会はなかなかない。あったとしても学校の職場体験など、限られている。身近にいる社会人から魅力的な仕事の話聞くことで地元で働く将来を具体的に考えるきっかけにする狙いがある。また講師として参加する方は自社、業界のアピール機会と捉え、後継者育成分野として取り組むメリットがある。市にとっても人材育成、地元に残る人材確保の機会になり、またそのための動画資産も企画のたびに増えていくことが見込める。市民が市政を理解するために、わかりやすく伝えることが必要だと思う。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>市内で働く方が中高生や大学生等に仕事の内容や魅力を対面で伝える取り組みについては、次表に示すとおり、酒田市、山形県庄内総合支庁、酒田商工会議所青年部などがそれぞれ実施しております。</p>

実施機関	対象	内容
酒田市	市内の高校生、産業技術短期大学校庄内校の学生、保護者	市内企業見学ツアー（若手社員による説明及び質疑）
山形県庄内総合支庁	庄内の中学生・高校生	地元で働くイメージをもってもらうための中高生と企業の交流会、大学進学を目指す高校生向けの地元企業の魅力を伝えるセミナー
酒田商工会議所青年部	中学生・高校生	当該会員が講師となる出前授業（将来の夢や職業を思い描くキャリア教育）
ジョブナビ In 酒田実行委員会	市内の高校生	高校生を対象とした合同企業説明会、高校生と地元青年経済人とのトークセッション
酒田市産業振興まちづくりセンター（サンロク）	誰でも	「Shonai Stars」地域で輝く凄い経営者たちを紹介するセミナー

ご提案のありました、所属（中学校、高等学校、大学等）を問わない、対象者をオープンにした市の主催による講演会・学習会については、類似の取り組みとの重複状況や対象者のニーズを踏まえ検討してまいります。

2

【ご意見（原文）】

第1章>政策2「大学・高校とともにつくる「ひと」と「まち」」について

子供のころから、酒田市の良さを伝える必要がある（50代以上の住み続けたいという人が考える酒田市の良さを実際に聞くなどしながら）。それが酒田市からの移住を減らすことにつながると思う。

【本市の考え方】

第1章>政策3>施策5【スクール・コミュニティの拡充】の今後の方向性として、「子どもを縁とし、学校と地域が一体となって地域づくり・人づくりを進めます。」と記載しており、地域人材・地域資源を活用した学習機会と学習支援の創出及び地域行事への児童生徒等の参加を促進してまいります。また、第1章>政策4>施策3【郷土愛にあふれた人材の育成】の今後の方向性として、「子どもたちがふるさと酒田に誇りと愛着を持つ教育の充実に努めます。」と記載しており、地域の資源や人材を活用した学習を推進してまいります。

3

【ご意見（原文）】

第1章>政策2>施策3【高等学校との連携】について

酒田市の中学校卒業生の2割が鶴岡市の学校に進学するとの記載がありますが、これは鶴岡市には工業専門学校があることも影響していると思われるが、酒田市高等学校の定員割れ事態もあり、事態は深刻だと思われる。高等学校の連携も重要ですが、中学生の進路指導においても連携することが必要だと思います。

【本市の考え方】

中学校における進路指導については、各高等学校の特色を踏まえ、生徒の希望・選択に寄り添った指導・援助を行うことが重要と考えます。

酒田市内に所在する高等学校が本市中学生の進学先として選ばれるよう、各高等学校の特色や魅力について周知を図るとともに、小・中学生と高校生が交流する機会を創出することで高校の魅力がさらに伝わるよう努めてまいります。

4	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策1【「いのち」の大切さを学ぶ教育の推進】</u>について 支援センターで行われているような乳児・幼児と、学生とのふれあいを増やす。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>現在、教育委員会が推進している小中一貫教育では、小・中学生が校種を越えて関わり合うことを含め、異学年による交流の実践に努めています。これと同様に、乳児や幼児とのふれあいの機会についても検討してまいります。</p> <p>高校生との乳幼児ふれあい体験については、これまで酒田光陵高等学校から事業に参加いただきておりましたが、令和4年度の酒田子育て支援センターの移転を機に、市内の全高等学校に意向調査を行い、酒田東高等学校の授業にも取り入れていただきました。今後も各高等学校と調整を行い、実施校を広げてまいりたいと考えております。</p>
5	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策2【「社会の変化に対応できる確かな学力の育成】</u>について 酒田市で実際に仕事をしている社会人の話を聞く。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>各学校では、職場体験や見学を通して、小・中学生が酒田市で仕事をしている方から直接お話を伺う機会を設けております。また、児童生徒一人ひとりの将来を見据えたキャリア教育の実践においても、様々な分野の方を講師にお招きしております。今後も地域と連携しながら子どもたちの学びの機会を確保してまいりたいと考えております。</p>
6	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策3【「豊かな心と健やかな体の育成】</u>について 冬の時期や雨が降り公園で遊べない場合に、室内で体を動かす場所を増やす。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>第4章>政策2>施策1【結婚・妊娠・出産・子育ての支援】の主な施策として、「親子の遊び場づくりなど育児環境の整備」を掲げており、子どもを産み育てやすい環境を整えてまいります。</p> <p>小・中学校においても季節や天候によらず運動する機会を確保できるよう努めております。これからも健康及び運動能力の向上に向けて取り組んでまいります。</p>
7	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策4【共生社会の実現に向けた教育の推進】</u>について インクルーシブ教育の確保と記載されていますが、このことを推進する場合に、幼児期から、障がい者・医療的ケアが必要な子どもを地域で受け入れることが必要ではないでしょうか。その場合、地域の人、教師、保護者、児童・生徒の理解を得るための環境が必要ではないでしょうか。そのための体制づくりも、人員も必要なのではないでしょうか。</p>

	<p>日本政府（文部科学省）は『令和の日本型学校教育 ～すべての子供たち可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実施～』が答申されていますが、この方針は9月9日に国連・障害者権利委員会による日本への勧告いわゆる通常学級で子どもを問題視、分離された特別支援教育の中止に向け、障がいのある子どもも無い子どもとともに学ぶ「インクルーシブ教育」に関する国の行動計画を作ることを求めています。文部科学大臣は特別支援学級の中止は考えていないと述べています。酒田市のスタンスはどのような立場ですか。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>酒田市では、学校と保護者が連携しながら個別の教育支援計画や指導計画を作成し、合理的な配慮のもと、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた教育の充実に取り組んでまいりました。今後、国や県の動向を注視しながら、県が推進している交流及び共同学習の考え方をもとに、引き続き一人ひとりのよさを伸ばし可能性を広げる学びの保障に向け、インクルーシブ教育の充実努めてまいります。</p>
8	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策4【共生社会の実現に向けた教育の推進】</u>について</p> <p>障害の有無にかかわらずの「有無」の表現は適切ではないと思います。変更をお願いします。</p> <p>〔本市の考え方（回答）〕</p> <p>今度の方向性の1つ目の記載「<u>障がいの有無にかかわらず、</u>全ての子どもたちが個々の能力を最大限に伸ばす学校づくりを推進します。」のうち、「<u>障がいの有無にかかわらず、</u>」を削ります。あわせて、第1章>政策4>施策5【「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進】における同様の表現を修正します。</p>
9	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策3>施策5【スクール・コミュニティの拡充】</u>について</p> <p>最近の「ことば」なのに推進ではなく、拡充としたのはなぜなのか。進んでいるものをさらに拡充するものではないか。</p> <p>〔本市の考え方（回答）〕</p> <p>酒田市においては、小・中学校とコミュニティ振興会などが協力し合い地域活動を行っておりますが、この点においては、すでに「スクール・コミュニティ」の考え方が実践されているものと考えております。</p> <p>コミュニティ振興会などの活動実績は十分なものですが、今後さらなる人口減少・少子化・高齢化が進む中、地域コミュニティ活動は次第に困難になっていくことも予想されます。</p> <p>地域コミュニティ活動の持続、発展のためには、より広い中学校区単位でのコミュニティ同士の繋がりを支援していくことなどにより、スクール・コミュニティを拡充していくことが必要と考えるものです。</p>
10	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p><u>第1章>政策4>施策1【人生100年時代を見据えた学びの推進】</u>について</p> <p>企業の従業員へ、福利厚生の一つとしてお試しで学びをしてもらったり、サークルとして所属してもらったりする。スポーツ活動も同様。</p>

	<p>〔本市の考え方（回答）〕</p> <p>今回ご提案いただいたような、企業の従業員様向けに限定した講座等は実施していませんが、総合文化センターでは、“暮らしに役立つおかね講座～人生100年時代のライフプランとおかね～”等の現代的課題への対応に役立つ講座の実施や、広報・ホームページなどを通して種々のサークル会員等を随時募集しております。また、様々な団体が総合文化センター等で活動を行っており、各団体の案内チラシ等も作成しております。</p> <p>スポーツ活動については、各地区のスポーツ推進員がニュースポーツなどの出前講座を地域で行っておりますので、スポーツ振興課へお問い合わせいただき、交流の場にしていただければと考えております。</p>
11	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p>第1章>政策4>施策2【文化芸術活動の推進】について</p> <p>写真の撮り方講座、学生写真部の写真展示など、様々な年代が興味をそそられるようなイベントをしてほしい。無料で展示を見られる日があっても良さそう。</p> <p>〔本市の考え方〕</p> <p>写真の撮り方講座については、土門拳記念館において、親子を対象にピンホールカメラ教室を実施しております。また、無料展示については、ボランティアでの清掃活動に参加した市民などを対象に、期間を限定して無料で入館できる取り組みを行っております。</p> <p>総合文化センターでは、貸し館として利用している団体等の発表の場として「生涯学習まつり(10月開催)」を実施しております。様々な団体がホールで発表したり、教室やモールで展示や体験など行ったりしています。さらにモール部分は無料で貸し出し、各団体の作品等の展示を行っております。写真関係のサークル団体についても、定期的にモールを活用して展示を行っておりますので、ぜひご覧ください。</p>
12	<p>〔ご意見（原文）〕</p> <p>第1章>政策4>施策3【郷土愛にあふれた人材の育成】について</p> <p>子供たちが学んだことを市民にも伝えてほしい。</p> <p>観光客とお話をする機会があり、普段何気なく散歩している日和山公園や酒田市内の良さを教えてもらった。観光客からの感想を市民に伝えることも、市民の郷土愛向上につながると思う。</p> <p>〔本市の考え方（回答）〕</p> <p>教育委員会では「きょういく酒田」の全戸配布により、子どもたちの学びの様子をお伝えしてまいりましたが、これからは、市のホームページでお知らせすることを検討しております。また、各学校では「学校だより」などにより、地域の方に子どもたちの活動の様子をお伝えしているところです。今後も地域の皆様のご理解とご協力が得られるよう、子どもたちの様子を幅広くお伝えしていきたいと考えております。</p> <p>この他、文化芸術の推進のために取り組んだ事業については、事業レポートを希望ホールのホームページで公開することにより、市内外の方からいただいた声を市民の皆様に幅広くお伝えしたいと考えております。</p>